

# 寄場 働く仲間 の新聞

釜ヶ崎新聞社

西成区萩之茶屋スル1-25  
寿モータービル内

仕事が少ないのにつけ、お親方

大正のあつた頃、寄場の単価は千二百円以下で、

りしところ、契約は千二百円以下で、  
片付を三日で、た、建築片付  
は六千円だといわれ、そこ  
五百円に下り、た、又、現  
場監督に、この仕事は二分  
つたか、わ、その二分はつ  
なれた。千二百円の時、代  
分の勝手、休みのとき、千  
円は、休むと、仕事は、休  
ら、今日は、仕事は、休  
で、最、仕事は、休  
は、最、仕事は、休  
食、最、仕事は、休  
千、最、仕事は、休

通常六千五百円以下、千二百円  
といつて、飯場入りした時は、六  
千五百円以下のことには、ないの  
に、仕事が少ないのに、つけ、こ  
ん、労働条件を、切下げる親方  
の根性が、ミエミエで、腹が立つ。

(七八三号)七月七日

徳島から出かせぎに

いまは、瀬もあかん、徳島  
の、小松島から、單車で、出かせぎ  
に、来た。あ、こうは、土方で、五  
から、六千円、位、こ、ち、は、六  
五百円、程、せ、か、ら、こ、ち、は、  
働、は、ち、よ、つ、と、西、成、の、方、か、え、え  
け、ど、ド、ヤ、代、や、ら、×、シ、代、そ  
水、に、こ、つ、ち、に、あ、る、と、ど、う、し、こ、も  
も、遊、ん、で、し、ま、う、し、い、つ、こ、も  
金、残、ら、ん、。去年の夏に、出かせぎに、こ  
っ、ち、去、年、の、夏、に、出、あ、の、せ、ぎ、ら、ろ、と、こ  
単、価、も、一、来、た、ん、ど、変、わ、つ、と、ら、ん、と、こ



とつてありますねん」といひう。  
「西成は仕事がない」と何をやらせてもあかん。(七十九号・七月二十日)

### テレビでわかもの顔 西成署

三角公園に西成署からテレビを寄贈した。西成署にしては、ちよつとできすぎたことだと思つてゐた。テレビを寄贈したら三角公園は西成署のものだといふ顔をすれば、最近ではテレビのスイツチをめぐつて、釜の労働者とトラフルかたえなひ。  
一昨日の夜などは、小雨の中を、五十人程の労働者がテレビをまだ見てゐるのに、ポリ公二人が、傘さしてやつて来て、いきなりテレビのスイツチを切つたといふ。労働者か九時位までは見せると言ふと、ちよつと本署へ来りしとか、お前の名前は」とか権力をちらつかせる。  
普通の時でも、三角公園のテレビを見せたくれ」と言つて西成署へ行くと、パチパチ写真とつてから、やつくりと恩きせかましくスイツチを入

れにやつて来るといひう。  
「なんでも、水位のことや写真をとられたり、恩きせかましく言われなあんのかぜ。新日つら日頃わしらをつかまえては、ボツタ打ちしてゐるくせにテレビ位、西成署の罪ほろぼしの一つや。」  
三角公園は西成署のものとかかうでええ、あれは釜の労働者やみんない公園や、何も西成署か三角公園で、わかもの顔に大きな顔することあんなえ。(竜一(三十七号・八月二十日))

### 商業紙の突っ込み不足

十七日の朝日新聞は、十六日朝、神戸の須磨海水浴場の波打ちぎわで殺された男の人、友永藤光(46才)で西成区から八人の作業員と一緒に、姫路市内の土木会社に雇われ、下請会社の雑役係をしてゐた。雇用期間は今月十四日までで、十四日の晩に作業場を出ていったといひう。(要旨)  
この新聞記事を見て腹が立つのは、天下の朝日新聞とも

### 労働者の死とセンター管理室

「昨日五時すぎ、ある労働者が、人が死んでゐるかも知れん」といひう。  
「ゆしが行つた時は、六、七人やつた。」  
「わしが行つた時は、右の眼がパチパチしてゐた」といひう。  
センター東側のシャッターの下に労働者が眼を開いたまま倒れてゐた。  
多くの労働者が集まり、死んでゐる、いや生きてゐる、死顔が真青やから死んでゐる、と言つてゐたがやはり死んでゐた。  
五時半頃、制服警官が来て、労働者を整理規制しはじめたところへ、パトカーと救急車が来て、多くの労働者が悲しみに見送る中をどこかへ運んで行つた。おそろくどこかの大学解剖室にちがひない。  
センターのシャッターは機械文明の発展でボクタンターで自動的に開き、マイクがシャッターの開くのを告げ、まこ

あろうものか、西成区から仕事に行つたとき書いてゐるだけだ、センターから行つたとき何故書かないのか、仕事現場にいても下請会社の雑役係とかいいてゐるだけだ、会社の名前も明らかにしてゐない。これはセンターに手配に来てゐる呉島の組の飯場となぜ書かないのか。まさか世界的情報網をもつてゐる朝日かそんなこと知らないわけがない。  
又、近ごろ商業新聞は、釜の労働者のことを作業員と書いてゐるが、なんで、飯場労働者と書かないのか、明らか差別的语言ではないのか。人間一人殺されてゐるのに釜の労働者の場合だと三行記事で片付けられ、それ以外の人はだれと大騒ぎしてゐるのか。体どういふことなのか。  
橋を作つたり、ビルを建てたりしてゐるわしら釜の労働者は、社会に對する貢献度からいつて決しておおく水をとつてゐるわけではない。重労働危険な仕事をすると人々を粗末に扱う様子は、どんな社会、どんなな会社でもその末路はき

とに管理室にとつては便利に  
なつてゐるが、むしろ釜の労働者  
がそのシャッターの下で  
死んでゐるのに管理室の奥中  
の顔はどこにも見えなかつた。  
管理室は労働者の死などは、  
どうでもよいことなのか。  
そんな管理室なら閉鎖して  
も、誰も文句を言うものはお  
るまい。(取材・柳)ハニ六号八月十九日

### トヤで中村さん死す

トヤ・マルゲンで中村敏夫  
（三十七才位）さんは二十九  
日の昼、十一時三十分頃、酒  
をのんでハダカで扇風機にあ  
たりながら寝ていたが、心臓  
マヒで死亡しました。という  
葬儀は親族が出したという  
ことです。  
中村さんの友人の話によろ  
と、モツアの日記のこと、仕事  
はよく行き、世話ずきな人で  
隣近所の人気者であつたとい  
う。  
又、自分の家族が大正区と  
いふ目鼻の所にあるから、  
釜ヶ崎加よといつて一度も  
戻らなかつたといふ。

新聞はさういふ問題についで  
は一切ふれてない。  
殺された仲間はこの間、  
まり仕事を休まざるといふが、  
センターにこれだけ仕事があ  
ければ、行きたくても行けな  
いといふものがある。  
この釜の仲間を殺した本当  
の犯人は誰なのか、他の人間  
にはごまかせても、この俺達  
には通用せんぞ。(ハニ三九号・九月二日)

### 原発就労めぐって殺人

三日、午後十一時二十五分  
ごろ、鶴見橋の「白菊荘」で、  
釜の仲間の西孝次郎さん（釜加）  
手配師の西孝次郎に、福井の  
美原原発に行くことになつて  
いたのを断つたところ、西は  
近くに通ビンをつたきわつて  
川原さんを刺し殺した。  
川原さんは原発に行くにあ  
たり、病院でのボデーチェツ  
クで高血圧と診断され行けな  
くなつたので、美原に行くの  
はせめるといつたところ、  
西は腹をたてて今度の事件と  
なつた。  
西に仕事をあつせんとしたの

釜不開かれ労働者集会に  
もチヨクチヨク旗を出してリ  
たとリウのことです。(ハニ三九号八月二日)

### メイに仲間を殺させたのは誰?

三十日夜、和歌山野崎で釜  
の労働者が中学二年のメイに  
刺し殺されたといふ事件があ  
つた。  
この事件の新聞報道をみる  
と、殺された仲間が、西成区  
で作業員をしてゐるもの、酒や  
職につかぬもの、酒やをやる  
悪く家のものに狂景をやる  
といふこと、殺されたのは  
当然といふ書き方である。  
少女を刺さる、殺された釜  
の名はもちろん、殺された釜  
の労働者の名も、AとかBの  
記号でしかのつてゐない。読  
者などは、思ひつめた少女の  
心哀れ、などと、いふ見出し  
を、殺された釜の労働者  
の方か悪いと、人々に狂景を  
釜の仲間を、殺人に狂景を  
するほどまで追いつめたのは誰  
なのか? 中学二年の少女は釜  
の仲間を殺させたのは誰なの  
か?

組の工は「ボデーチェツクで  
美原かだれでも茨城の東海原  
浜ならいける」と他にもらし  
ており、西はこの線、川原さ  
んを手配するつもりだつたら  
し。

西はさきの「徳山丸事件」  
でも、内外産業に釜の仲間  
を送りこんでおり、徳山丸の  
スラツジ投棄を告発した仲間  
に対し、「神戸の組関係の若い  
衆がだまつたらんぞ」と向度  
もおどしをおかけていた。

殺された川原さんとよく仕  
事に行つた仲間の話だと、西  
原さんは北海道旭川の出身で、  
非常によく仕事をやる人で、  
現場へ行つても自分、西面を  
みてサツサと段取りをしてし  
まうので、親父も監督をそつ  
ちのけ、川原さんに仕事をま  
かしたといふ。あんなおとな  
しくてまじめな人、なんでも  
西なんかに殺されたあれんの  
せよと、怒りをぶちまけていた。  
(ハニ三九号・九月二日)

### 命かけての原発就労

三日、鶴見橋の「白菊荘」  
で川原光男さん刺殺された。

この事件をまず問題にするのは、山原さんか大正の病院で検査をうけ、高血圧不就労不能と診断されてはいるにもかかわらず、手配した西孝次郎が山原さんに就職を強要してはいることだ。

美津原発がダメでも東海村の原発ならよれというのには、関電と東電のチェック体制の違ひなど、電力会社の安全体制そのものの問題となる。今度の事件では、就職条件は、最初に仕度金三万円をわたし、食抜き九千円というものがわたった。原発の仕事がずつととしていくと、寿命が十年も二十年もちがまるといわれてはいるが、命と引きかえでなければできない危険な仕事を、たかか三万円の仕度金で強制されてたまるか。

四日、通産省・資源工ネルギー庁が発表した調査報告によつて、原発で働く労働者加放射線を被ばくする量は、下請労働者加正社員の1.6倍という。

この数字はまだマツパでも、正社員は鉛の壁のうしろで、今年も五百円のアップで更新するなら、さらにこの記録を刷新して七%代となる。こんな釜ヶ崎をなめた時、金斗争かどこの世界にあるか？今のやり方なら要求額の三万円を獲得するのにはあと四十年もかかる。毎年四十%のアップ率でいけば、今年は少なくとも九千円とつてあたりまえ、五年後には三万円の要求額に達する。(七十九号、七月十五日)

日雇健保の印紙を貼れ

白手帳もさることながら、むしろは病気になること困るので、日雇健保保険を作ろうと思つて、建設に仕事に行つた時、保険の印紙をはつてく水と言ひつたら、なれと叫ぶ。そこで、玉出の社会保険事務所に、建設はもつてはいるはずだと言ひかから、又、建設に行つて、玉出の事務所に、なれと叫ぶ。はつてく水と言ひか、三十分程してから、印紙代は三七〇円で親方と労働

この安全なところから指示するだけ、実際に放射線をあびて働くのは全部、釜とが山谷の下請労働者である。(以下略)

低すぎるアツパ率 夏期一時金

四十六年からの夏期一時金の獲得額の推移をみてみよう。この表をみると、この五年間、毎年四百円から五百円の上積みできてはいるが、

|     |     |       |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 前年  | 600 | 1,200 | 500 | 400 | 500 | 500 | 500 |
| 47年 | 48  | 49    | 50  | 51  | 52  | 53  | 54  |
| 46年 | 47  | 48    | 49  | 50  | 51  | 52  | 53  |
| 45年 | 46  | 47    | 48  | 49  | 50  | 51  | 52  |
| 44年 | 45  | 46    | 47  | 48  | 49  | 50  | 51  |
| 43年 | 44  | 45    | 46  | 47  | 48  | 49  | 50  |
| 42年 | 43  | 44    | 45  | 46  | 47  | 48  | 49  |
| 41年 | 42  | 43    | 44  | 45  | 46  | 47  | 48  |
| 40年 | 41  | 42    | 43  | 44  | 45  | 46  | 47  |
| 39年 | 40  | 41    | 42  | 43  | 44  | 45  | 46  |
| 38年 | 39  | 40    | 41  | 42  | 43  | 44  | 45  |
| 37年 | 38  | 39    | 40  | 41  | 42  | 43  | 44  |
| 36年 | 37  | 38    | 39  | 40  | 41  | 42  | 43  |
| 35年 | 36  | 37    | 38  | 39  | 40  | 41  | 42  |
| 34年 | 35  | 36    | 37  | 38  | 39  | 40  | 41  |
| 33年 | 34  | 35    | 36  | 37  | 38  | 39  | 40  |
| 32年 | 33  | 34    | 35  | 36  | 37  | 38  | 39  |
| 31年 | 32  | 33    | 34  | 35  | 36  | 37  | 38  |
| 30年 | 31  | 32    | 33  | 34  | 35  | 36  | 37  |
| 29年 | 30  | 31    | 32  | 33  | 34  | 35  | 36  |
| 28年 | 29  | 30    | 31  | 32  | 33  | 34  | 35  |
| 27年 | 28  | 29    | 30  | 31  | 32  | 33  | 34  |
| 26年 | 27  | 28    | 29  | 30  | 31  | 32  | 33  |
| 25年 | 26  | 27    | 28  | 29  | 30  | 31  | 32  |
| 24年 | 25  | 26    | 27  | 28  | 29  | 30  | 31  |
| 23年 | 24  | 25    | 26  | 27  | 28  | 29  | 30  |
| 22年 | 23  | 24    | 25  | 26  | 27  | 28  | 29  |
| 21年 | 22  | 23    | 24  | 25  | 26  | 27  | 28  |
| 20年 | 21  | 22    | 23  | 24  | 25  | 26  | 27  |
| 19年 | 20  | 21    | 22  | 23  | 24  | 25  | 26  |
| 18年 | 19  | 20    | 21  | 22  | 23  | 24  | 25  |
| 17年 | 18  | 19    | 20  | 21  | 22  | 23  | 24  |
| 16年 | 17  | 18    | 19  | 20  | 21  | 22  | 23  |
| 15年 | 16  | 17    | 18  | 19  | 20  | 21  | 22  |
| 14年 | 15  | 16    | 17  | 18  | 19  | 20  | 21  |
| 13年 | 14  | 15    | 16  | 17  | 18  | 19  | 20  |
| 12年 | 13  | 14    | 15  | 16  | 17  | 18  | 19  |
| 11年 | 12  | 13    | 14  | 15  | 16  | 17  | 18  |
| 10年 | 11  | 12    | 13  | 14  | 15  | 16  | 17  |
| 9年  | 10  | 11    | 12  | 13  | 14  | 15  | 16  |
| 8年  | 9   | 10    | 11  | 12  | 13  | 14  | 15  |
| 7年  | 8   | 9     | 10  | 11  | 12  | 13  | 14  |
| 6年  | 7   | 8     | 9   | 10  | 11  | 12  | 13  |
| 5年  | 6   | 7     | 8   | 9   | 10  | 11  | 12  |
| 4年  | 5   | 6     | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  |
| 3年  | 4   | 5     | 6   | 7   | 8   | 9   | 10  |
| 2年  | 3   | 4     | 5   | 6   | 7   | 8   | 9   |
| 1年  | 2   | 3     | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   |
| 0年  | 1   | 2     | 3   | 4   | 5   | 6   | 7   |
| 47年 | 48  | 49    | 50  | 51  | 52  | 53  | 54  |
| 46年 | 47  | 48    | 49  | 50  | 51  | 52  | 53  |
| 45年 | 46  | 47    | 48  | 49  | 50  | 51  | 52  |
| 44年 | 45  | 46    | 47  | 48  | 49  | 50  | 51  |
| 43年 | 44  | 45    | 46  | 47  | 48  | 49  | 50  |
| 42年 | 43  | 44    | 45  | 46  | 47  | 48  | 49  |
| 41年 | 42  | 43    | 44  | 45  | 46  | 47  | 48  |
| 40年 | 41  | 42    | 43  | 44  | 45  | 46  | 47  |
| 39年 | 40  | 41    | 42  | 43  | 44  | 45  | 46  |
| 38年 | 39  | 40    | 41  | 42  | 43  | 44  | 45  |
| 37年 | 38  | 39    | 40  | 41  | 42  | 43  | 44  |
| 36年 | 37  | 38    | 39  | 40  | 41  | 42  | 43  |
| 35年 | 36  | 37    | 38  | 39  | 40  | 41  | 42  |
| 34年 | 35  | 36    | 37  | 38  | 39  | 40  | 41  |
| 33年 | 34  | 35    | 36  | 37  | 38  | 39  | 40  |
| 32年 | 33  | 34    | 35  | 36  | 37  | 38  | 39  |
| 31年 | 32  | 33    | 34  | 35  | 36  | 37  | 38  |
| 30年 | 31  | 32    | 33  | 34  | 35  | 36  | 37  |
| 29年 | 30  | 31    | 32  | 33  | 34  | 35  | 36  |
| 28年 | 29  | 30    | 31  | 32  | 33  | 34  | 35  |
| 27年 | 28  | 29    | 30  | 31  | 32  | 33  | 34  |
| 26年 | 27  | 28    | 29  | 30  | 31  | 32  | 33  |
| 25年 | 26  | 27    | 28  | 29  | 30  | 31  | 32  |
| 24年 | 25  | 26    | 27  | 28  | 29  | 30  | 31  |
| 23年 | 24  | 25    | 26  | 27  | 28  | 29  | 30  |
| 22年 | 23  | 24    | 25  | 26  | 27  | 28  | 29  |
| 21年 | 22  | 23    | 24  | 25  | 26  | 27  | 28  |
| 20年 | 21  | 22    | 23  | 24  | 25  | 26  | 27  |
| 19年 | 20  | 21    | 22  | 23  | 24  | 25  | 26  |
| 18年 | 19  | 20    | 21  | 22  | 23  | 24  | 25  |
| 17年 | 18  | 19    | 20  | 21  | 22  | 23  | 24  |
| 16年 | 17  | 18    | 19  | 20  | 21  | 22  | 23  |
| 15年 | 16  | 17    | 18  | 19  | 20  | 21  | 22  |
| 14年 | 15  | 16    | 17  | 18  | 19  | 20  | 21  |
| 13年 | 14  | 15    | 16  | 17  | 18  | 19  | 20  |
| 12年 | 13  | 14    | 15  | 16  | 17  | 18  | 19  |
| 11年 | 12  | 13    | 14  | 15  | 16  | 17  | 18  |
| 10年 | 11  | 12    | 13  | 14  | 15  | 16  | 17  |
| 9年  | 10  | 11    | 12  | 13  | 14  | 15  | 16  |
| 8年  | 9   | 10    | 11  | 12  | 13  | 14  | 15  |
| 7年  | 8   | 9     | 10  | 11  | 12  | 13  | 14  |
| 6年  | 7   | 8     | 9   | 10  | 11  | 12  | 13  |
| 5年  | 6   | 7     | 8   | 9   | 10  | 11  | 12  |
| 4年  | 5   | 6     | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  |
| 3年  | 4   | 5     | 6   | 7   | 8   | 9   | 10  |
| 2年  | 3   | 4     | 5   | 6   | 7   | 8   | 9   |
| 1年  | 2   | 3     | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   |
| 0年  | 1   | 2     | 3   | 4   | 5   | 6   | 7   |

なぜ通用せぬ 日雇健保

働者は法律上は半分のはずなのに二百円とつた。又、たった一枚の印紙をはつてもらうのに交通費が四回。円もかかった。腹が立つやら、あほくさいやら、日本の国はどうなつてはいるのと言ひたくなつた。(七十九号、七月十五日)

俺は体を悪くして、天六の施設に入つてはいた。用がつかつたの、施設を出て働いて通つてはいた。施設を出て働いて、行きつけの病院が良しと思つたので、長病院へ行つたら窓口で、あんなは施設の証明書をもらつて来た日と診てやらんと言われた。

俺は頭にきた。日雇健保はどの病院でも通用するものとはちがうんか。今度行つたらこのこときちんとしてやる。本当に頭にくることやら。(一労働者二八三。号、八月二三日)

昨日刊「寄場」仲間の新聞の記事を転載させてもらひました。釜ヶ崎新聞社の人が、なおい、見出しは「こらうでつけました」